



〒892-0841
鹿兒島市照国町13-42
カトリック鹿兒島司教区
電話099 (226) 5100
振込口座 02030-2-8359
編集発行 教区広報部
1部60円年間千共1100円

いつくしみの特別聖年に当たって

鹿兒島司教 郡山 健次郎

2015年12月8日

2016年11月20日

鹿兒島教区に信仰の新しい伝統を作りたいと思っております。第二バチカン公会議後、日本の教会はいち早く改革を推進し、新しい教会の姿を作り上げてきました。とくに、鹿兒島教区では、他の教区に先駆けて司牧評議会制度を確立し、小教区運営の形を公会議の精神に沿ったものとししました。それは、誇るべきことでした。

しかし、一方で、聖堂のベンチから跪き台を一齐に撤去した例に代表されるように、信者たちに慣れ親しんできた信仰生活の良い伝統を放棄してしまったのも本当です。具体的な信心行為もさることながら、ミサ以外のことに對する過小評価が進んだということでもあります。それは、よく言えば、ミサに対する正しい理解が深まったということなので喜ばしいことではあるのです。

前にも書いたと思うのですが、信仰生活を潤いのあるものにするために、信心行為は潤滑油の働きをします。主食と副食の関係と言っていると思います。それでも物足りない人々にとつては様々なサプリメントが重宝されています。

お隣韓国の教会をはじめ、アジア各国の教会はどの国でも信心行為が盛んで、教会は大元氣です。日本の教会がどこか静かすぎて生気を感じないのはどうしてでしょうか。日本の文化が他のアジアの国と違うからでしょうか。確かに日本の独自性というのがあります。理由は簡単です。信心

行為はいわば民間信仰と言っていると思います。だから、教皇は民衆が大事にしてきたものにも寄り添ってくださるに違いないと思えるからです。

まずはこうした認識を持つたうえで、鹿兒島教区としては、新しい信仰の伝統を残していきたいと思っております。ノベナの祈りの推奨もその一つです。今回始めたい「いつくしみの特別聖年」を機会にもう一つ、「いつくしみの信心」を勧めたいと思っております。いつくしみの祈りの花束と呼ばれるお祈りが中心となりますが、各小教区で説明書と祈りのカードが配布されることになっています。是非取り組んでいただきたいと思っております。

ちなみに、ポーランドで始まったこの信心はバチカン大使館からも提案されている。この特別聖年「奉獻生活の年」は、昨年の待降節第一主日(十一月三十日)に始まり、来年二月二日の主日の奉獻の主日に締めくくられる。

奉獻生活の年閉幕ミサ

来年一月三十一日にザビエル教会で

いる世界的広がりを持ったものです。最後に、親愛なる司祭の皆さんにお願いいたします。司祭の一義的任務が祈りでありみ言葉を説くことであることを再認識していただきたいと思っております。家庭生活者よりも多くの自由時間を持つことができるのですから、ミサと祈りの時間を惜しんでなりません。主日のミサは皆さんの信仰の姿を分かち合うときです。い

わゆるお説教ではなく皆さんの信仰の言葉をこそ信徒は聞きたがっています。それこそが、この特別聖年における皆さんの羊に對するいつくしみの奉仕であるのです。

エスが覚えた哀れみと同じ思いを抱いた創立者と同じ熱意を持ち続け、人々の喜びと悲しみを分かち合えるほどに人々に寄り添っているかを問う「熱意をもって現在を生きる」などを掲げ、希望を持って未来に向かい、世を覚めさせることを期待していると述べている。

教皇フランシスコは、その使徒的書簡「奉獻生活の年にあたって」の中で、この年の制定の目的に、それぞれの修道家族が神に感謝するために、自身の起源と歴史的發展を思い起こす「感謝をもって過去を見る」、羊飼いのいない迷子の羊のような群衆を見てイ

そんな修道者たちのためにも奉獻生活の年閉幕ミサに一人でも多くの信者に集まって欲しい。この日のミサには、二月二日の「主の奉獻」の典礼が用いられ、郡山司教が主司式する。ミサ後には交流を目的とした茶話会も計画されている。

道標

イカラス(ブラジル)の町の神父さまの手紙から
クリスマススイブの日

ゴミ箱から拾われた赤ちゃん

恵みのクリスマス

大口教会主任司祭 M・アッシャー神父

腹の空いた女の子は、食べられそうなものがないかと街角のゴミ箱をひっくり返して探していた。すると古新聞に包まれていたゴミが動いているのを見つけた。開いてみると弱っている赤ちゃんが入っていた。

女の子は急いで病気がちのお母さんのところに連れて行き、お母さん

とても不安だった。でも「クリスマス」の日に私のところにイエスさまが来てくださった」と自分に言い聞かせ、近所の女たちを呼んで、助け合

って育てることにした。赤ちゃんを見つけた女の子は、「馬小屋を作ろう」と元氣を出して、自分が拾ってきた古い一輪車を飼料の桶に見立て、赤ちゃんをそ

れに入れた。赤ちゃんはイエスさまにそっくりだった。クリスマスミサが終わったから女たちはその赤ちゃんを代わる代わる抱き合

特別聖年中に祈りの運動を 12月13日にザビエルで開幕ミサ

十二月八日(火)から「いつくしみの特別聖年」が始まるのを受けて、郡山司教はこの期間中、教区に祈りの輪を広げようと「神のいつくしみの花束」を唱えることとし、祈りのカードを作成、十一月開催の定例司祭集会(コンベンツス)で配布した。(祈りの仕方については、二面を参照) また司教は「特別聖年開

始のためのミサ」をささげることを決め、以下のように発表。また教区内全小教区でこの日には、同じ意向でミサをささげるよう主任司祭に通達した。

【特別聖年開幕ミサ】
日時 十二月十三日(日) 午前九時
場所 ザビエル教会

このほか司教は鹿兒島教区が聖フランシスコ・ザビエルを教区の保護者としながらも、その「取次を願う祈り」(二〇〇三年司教認可)が定着していないのを憂慮し、その祈りのカードを作成し、同じく十一月の会議で配布した。同祈りのカードは、ザビエル教会と書院でも来訪者に配布されることになっている。

来日五十周年感謝の巡礼

シドゥッチ神父上陸の地屋久島を訪ねて

レデンプトール宣教修道女会 安藤 克子

翼走中の(トッピー)船窓から、九州最高峰(1936m)の宮之浦岳がそびえる屋久島が見えます。切り立った花崗岩の岩肌の山々と深い森林の裾に薄霧がたなびき、あたかも墨絵の世界を観るような風景に



シドゥッチ神父の聖マリアへの訪問。きれいに草払いされた庭には、アーチ型で石造りの記念碑が建立され、背後には大輪で色鮮やかな皇帝ひまわりとハイビスカスが咲き乱れ、聖堂のガラス窓越しには、聖体ランプの灯りが淡い光を放っておりました。その聖体ランプの灯りを見つめながら祈り、聖歌をささげました。海岸側に降りた地

シスターたちは思わず息を飲み、歓声をあげました。待望の屋久島巡礼の始まりです。

温かく出迎えて下さったのは、知人でNPO法人のメンバーたち。早速、滝巡りと屋久島教会(教会名…シドゥッチ神父の聖マリア)への訪問。きれいに草払いされた庭には、アーチ型で石造りの記念碑が建立され、背後には大輪で色鮮やかな皇帝ひまわりとハイビスカスが咲き乱れ、聖堂のガラス窓越しには、聖体ランプの灯りが淡い光を放っておりました。その聖体ランプの灯りを見つめながら祈り、聖歌をささげました。海岸側に降りた地

神のいつくしみへの祈りの花束

はじめに主の祈り、聖母マリアへの祈り、信仰宣言を一回ずつ唱える。
ロザリオを用いて、次のように五連唱える。

○「主の祈り」の珠で、一回唱える)

永遠の父よ、わたしたちと全世界のすべての罪のあがないのために、あなたの最愛の子、わたしたちの主イエス・キリストのおん体とおん血、ご靈魂と神性をみ前にささげます。

○「聖母マリアへの祈り」の珠で、十回唱える)

イエスの痛ましいご受難によって、わたしたちと全世界にいつくしみを注いでください。

○(以上を五連唱えたら、締めくくり三回唱える)

聖なる神、聖なる全能の神、聖なる永遠の神よ、わたしたちと全世界をあわれんでください。

姉妹との出会いで、F姉は東京で受洗し、現在はこの屋久島で生活しておられます。高校生として、宿舎であった聖母寮と純心高校の往復の日々にタイムスリップしたような出会いのひと時でした。どうぞ、神様の恵みの雨(祝福)をいっぱい受けながら、屋久島の杉のようにしっかりと根を張り、徐々に信仰の樹を成長させて行っていたただけです。

シスター奮戦記

自宅で認知症の父に寄り添って

純心聖母会 麻生 秋代

どげなことがあってもニコニコ。認知症、重くはないが、今言ったことをすぐ忘れ、また同じことを繰り返す。性格にもよると思うが、症状もいろいろだと実感している。

同じことを言うのを数えてみると、一日に百回以上になると、こうなってくると体力と精神力(忍耐)が必要となる。が、これをありがたく神さまに委ねると楽である。現実を受け入れること、ワクワク楽しくしていくことがポイントだ。昔のことはよく覚えていたため、相手の「昔」にタイムワープさせていくことも大事。ここで己を無にすることができるとがミソである。「己を無にする」とは、自分の感情や気持ちを見つめつつ、一息入れて相手のために時と場所を提供すること、神さまに「間」に入

父様と、村人との数日間の出会いによる神父様からの祝福は、屋久島在住の一人ひとりに、屋久島を訪れる一人ひとりに絶えることなく注がれ続けられていることを、今回のF姉妹との出会いにより実感しました。この巡礼で、シドゥッチ神父様がより身近なお方に感じられたことは、何と幸いなことでしょうか。

つてもらって、神さまの手の中に自分をそのままお任せする。そうすると相手の気持ち、世界に身を置くゆとりが生まれ、相手との共感、共有の世界が誕生する。己が無であれば、どのような相手にも合わせられるので、嫌なことがなくなる。相手の「昔」を引き出して、脳を活性化させる。笑うことで自律神経のバランスも良くなり、体も心も元気になる。何があっても笑うことが、つくり笑いでも、良い笑いでなくても笑うことだ。今日もテーブルの上で、ア리가ご飯粒を一生懸命運んでいた。冬に向かって自然界は、それぞれが与えられた場所で精一杯生きていく。誰からも何も言われなくても、黙々と神様を賛美している。そのアリの動きを見つめながら、米粒をどこへ運んで行くのか、他に

台風で鶏小屋の屋根が吹き飛ばされたが、そんな時でも、鶏は卵を産んでいる。素晴らしいと思う。停電が五日間続いた。電気がなかった昔を思い出して、父との会話に花が咲いた。落ち着いた昔話ができるたびに、「いつかは神さまのところへ帰らんといかん」ことを私は意識して話している。神さまからいただいた身、少しづつ神様に返していく。う、神様の元に帰るその日まで。キリストさまもそうであったように、すべては神さまから来ているということは何度も何度も言い続けている。同じことを何度も繰り返す父と同じように。(鹿兒島県出身)



カトリック通信講座のご案内

1972年開設以来の信頼と実績。『聖書入門〔I〕』のコラムには、Sr.渡辺和子も登場。2015年春に「幸せな結婚」のテキストをリニューアルしました。

<全7講座>
T 001=キリスト教とは キリスト教の概要
T 002=聖書入門〔I〕 四福音書(イエスの生涯)
T 003=キリスト教入門 秘跡や信仰生活(洗礼準備にも)
T 004=神・発見の手引 人生、自然を通して神へ
T 005=聖書入門〔II〕 使徒言行録・書簡・黙示録
T 006=幸せな結婚 結婚の意味や愛、幸福

T 007=生きること・死ぬこと 命に関する問題

<受講料>(教材費・税込)
T 001~T 004 各4,800円
T 005~T 007 各5,300円

<お申込み>
 郵便振替用紙にご希望の講座名・講座番号(T001~T007)をご記入のうえ、下記にお振込みください。入金確認後教材をお送り致します。
 振替口座番号:00170-2-84745
 加入者名:オリエンズ宗教研究所

<お問い合わせ>
 オリエンズ宗教研究所「カトリック通信講座」
 TEL03(3322)7601
 FAX03(3325)5322
 詳細はホームページをご覧ください。
 URL:http://www.oriens.or.jp

俳句

花石路に深山行来たや死者の月
 鹿兒島純心 川上 和
 もずの声み言葉にのせ道いそぐ

短歌

飛行機雲始良カルデラ一直線機は澄む空を光となりて
 始良教会 川口節子

文芸

聖書手に月を眺める夜長かなこぼれ種子恵みの花よカレンジエラ
 国分教会 政ノブ子

純心川内 稲井道子

栗の木が枝葉削がれて一ヶ月 光る若葉に秋風吹きて高き空コスモス揺るるかみなづき平和を祈るロザリオを手

出水教会 遠竹睦郎

冬ながら野山青々吉野路えの月
 マリア様見上げて祈る死者の月

吉野教会 徳永ノブ子

マリア様見上げて祈る死者の月

鹿兒島純心 川上 和

顔私も欲しいいつくしみの年

キリスト者の生きる術を学習

恒例の福者レオ七右衛門殉教祭

薩摩の殉教者・福者レオ七右衛門の殉教を記念し、その生き方に学ぶ



「互いに尊敬する心を持つ」と話す司教

うという「殉教祭」が十一月十五日(日)午後、レオ七右衛門が受洗した京泊教会跡地と川内教会で開かれた。

ドミニコ会によって京泊に建てられた聖堂の跡地では、現地に集まった信徒と川内教会から徒歩巡礼した信徒らが聖歌を歌い、祈りをささげ、殉教を覚悟しここで受洗したレオの決意を偲んだ。

その後、午後三時から会場を川内教会に移し、郡山司教司式のミサがささげられた。ミサには北薩地区の信徒を中心

に二百人が参列、十六人の司祭・助祭と共に殉教者の熱い信仰を教区の礎とすることができるよう祈りをささげた。

説教の中で郡山司教は、教皇フランシスコの使徒的勸告「福音の喜び」から、「キリスト者として生きるためには人々に寄り添うことが大切。寄り添う(同伴する)ことは、他者という聖なる土地に入るのだから、自分を無にして相手に対する尊敬心を持たなければならぬ。間もなく始まる特別聖年には教会で寂しい思いをする人がいなくなるようにして欲しい」と学

習と祈りを促した。ミサ後は、川内教会婦人たちのもてなしもあって教会前広場で信徒たちが温かく交流する姿が見られた。

殉教祭に懐かしい顔

殉教祭に一九九八年十月から二〇〇二年三月までザビエル教会助任として働いた聖ザベリオ宣教会のS・マストロット神父(六十九歳)の姿があった。神父は離職後、関西、ブラジルで司牧し、現在はレオの出身地都城の教会に着任したため足を運んだという。



▼唐湊墓地でミサ
十一月一日(日)午後、カトリック唐湊墓地で、死者ミサがささげられた。

短 信

+KABAYAN SEKSYON+ Dokumento ukol sa Laiko sa Vaticano II

Tinatalakay ang papel ng laiko sa Simbahan sa ilang mg dokumento ng Konsilyo, lalo na sa Apostolicam Actuositatem, ang Dikreto ng Apostolado ng Laiko. Inaprubahan ang dokumentong ito noong Nobyembre 18, 1965 pagkatapos makakuha ng 2,305 na botong pagsang-ayon at dalawa lamang botong pagsalungat.

Sa simula ang Paghahandang Komisyon para sa Apostolado ng Laiko ay naglabas ng unang sipi noong 1962, ang taon ng pagbubukas ng Konsilyo. Ang pangalawa (1963) at pangatlong (1964) mga sipi ay humantong sa huling dokumento (pang-apat na sipi), na inaprubahan ng pangkalahatan noong 1965.

Mahalaga na ang dokumento ay tuwirang nagsisimula sa laiko, hindi sa herarkiya, sa pabibigay pansin na "ang apostolado ng laiko ay nagmumula sa kanilang bokasyon bilang mga Kristiyano at hindi maaaring mawalan nito ang Simbahan" (AA 1).

Nang pormal na iproklama ang dokumento noong 1965, ang Pilipinong si Jose Maria Hernandez, isang opisyal na tagamasid sa Vaticano II, ay pinili bilang isa sa anim na mga laiko na makatanggap ng sipi; ito ang kauna-unahang pagkakataon na ang isang laiko ay pinahintulatang umakyat sa rostrum ng Papa sa Basilica ni San Pedro.

七五三の祝福

国分幼稚園

十一月九日(月)の朝、元気な子どもたちの歌声の中、「七五三の祝福の集い」が始まった。司式をして下さったのは国分教会のサンタマリア神父様。

式では「子どものように、神の国を受け入れるものでなければ、決してそこに入ることはできない」(ルカ十八・15)が朗読された。神父様から「神様に感謝すること、周りの人に感謝すること」の大切さの話があり、「マリア様の深い愛の中で成長されたイエス様のように、子どもたちも家族の大きな愛に包まれて、心豊かに成長することができまますように」と、純粋な心の子どもの健やかな成長を、神父様、保護者、教職員と共に祈念した。



その後、神父様から一人ひとりに祝福をいただき、お祝いの千歳飴をもらった子どもたちの透き通った瞳は、何とも言い難い安らぎに満ちていた。

神に感謝。
(報告・主任 万膳麻美)

司教執務室便り

いつくしみの特別聖年

先月の日韓司教交流会で宿泊したホテルの入り口にはもうクリスマスの飾りつけがあつて驚きました。十一月半ばだということに、気の早い世の人々に感心したものです。もちろん、ホテルの人と私たちのクリスマスに対する思いは異質のものです。

つまり、ご降誕のミサにあずかっただけで、ご降誕のミサをお祝いすることになるといふ点で異質です。そして、待降節を特別な思いで過ごし、降誕祭後もその余韻に浸りながら降誕節を過ごす点でも、クリスマスセールに浮かれ、年末商戦にまい進する世の人々とは明らかに違います。

何よりも、今年の待降節は私たちにとって特別のものです。十二月八日(日)をもって「いつくしみの特別聖年」が始まるからです。いつもとは違う質の待降節にすることが求められています。違う質にするというのは、もちろん待降節の

意味や質が変わるわけではありません。わたしたちの信仰者としての生き方の質を変える必要があるのです。つまり、もつと真剣に福音の心を生きようとしなければならぬのです。教皇が言われるように、「キリスト者がいるところはどこでも、だれもが、いつくしみのオアシスを見いだすことができる」(大勅書・12)ような生き方が求められています。教皇はまた、「裁かないこと、罪に定めないこと」(同上・14)と諭され、「ねたみやそねみ：兄弟の悪口」(同上)に気を付けるだけでなく「赦しの道具となりなさい」(同上)とすすめておられます。

細かなことは述べる事ができませんが、待降節の間、大勅書をみんな読んでみながら「身体的な慈善」と「精神的な慈善」(同上・15)についても何ができるか考えていただきたいと思います。

こうして、神様のいつくしみの心に倣うという一点に気持ちを向けることでこれまでとは違う質の待降節になるはずで



ちなみに、聖年のモットーは「御父のようにいつくしみ深く」となっています。

会と催し (12月)

- 3日(木) 日本宣教会の保護者聖フランシスコ・ザビエル
- 6日(日) 待降節第二主日
- ▼貴島丈助祭司祭叙階式・名瀬聖心教会・16時
- 7日(月) ヴィンセントマン神父命日(二〇〇六年)
- 8日(火) 無原罪の聖マリア
- ▼いつくしみの特別聖年始まる・二〇一六年十一月二十日
- 13日(日) 待降節第三主日
- ▼いつくしみの特別聖年開始ミサ・ザビエル教会・9時
- ▼第五十五回鹿兒島市民クリスマス「だから今日、希望がある」・ザビエル教会・14時
- 19日(土) 有馬信茂神父命日(二〇〇七年)
- 20日(日) 待降節第四主日
- ▼大野和夫神父叙階記念(一九六一年)
- 25日(金) 主の降誕
- 26日(土) 聖ステファノ殉教者
- 27日(日) 聖家族
- ▼田邊徹神父、寝占敦之神父、末吉卓也神父、山口好信神父霊名(使徒ヨハネ)
- 28日(月) 幼子殉教者
- ▼教区本部事務所仕事納め・1月4日まで

祈りの意向

- 【ノベナ】いつくしみの特別聖年(7日~16日)
- 【祈祷の使徒会】世界共通・神のいつくしみの体験
- 宣 教・家庭
- 日本の教会・HIVの治療に携わる人々

教会が我が家

古田町教会

林 次男さん

信徒総代に聞く③

信徒総代。―小教区で司祭を支えるとともに信徒をまとめ、教会運営や年間行事等の教会活動にあたり陰力持ち。普段は司祭に隠れて目立たない彼らにスポットを当て、各小教区の現状や課題等について聞くシリーズ第3回は、奄美大島(奄美市名瀬)にある古田町マリリア教会の信徒総代、林次男さんに話を伺った。

教会が我が家

古田町マリリア教会は1958年、コンベンツアル聖フランシスコ修道会により、「天地の元后聖マリリア」を守護者とし落成献堂。名瀬聖心教会から分離し新小教区設立を準備した(1964年、正式に小教区に)。当時、林さんは小学3年生。献堂式・祝賀会が盛大に祝われたのを記憶する。子どもも駆り出され、芝居や踊りを披露したという。林さんの一番の思い出は「夏休みのサマースクール」。午前6時半からラジオ体操、ミサ、朝食、夏休みの宿題等と続く一週間のプログラム。一日も欠かさず通ったという。また、これには小俣町にあった児童養護施設、白百合寮(後に浦上に移転)からも子どもたちが参加。総勢70人にも上る子どもが教会に。「ガキの頃の良い思い出」と林さんは笑う。

「あの頃は子どもが常時、50人以上はいた」と林さん。「毎日、下校すると教会へ直行。卓球等を楽しんだ」



また林さんは忘れられない人の一人として、ルーシオン神父の名を挙げる。高校生の頃、ミサの後永田町の修道院(現奄美地区長館)へ。作業場で教会修繕のための角材切り等、共に大工仕事に励んだという。「楽しかったなあ」と思いう話

と当時を懐かしむ。「教会が我が家だった」。

忘れられない人たち

マリリア教会には当時、作家の故・島尾敏雄(1917-1986)がいたのはよく知られる。島尾は1955年、妻ミホの療養のため来島。翌56年、名瀬聖心教会で受洗。57年からは県立図書館奄美分館(現県立奄美図書館)の館長に。夜間高校の教員も務め、作家・図書館長・教員の三足の草鞋を履き、文壇のみならず地域の教育文化活動でも活躍した。

林さんは島尾の長男、伸三さんの一級下。日曜日のミサの後、よく島尾宅で遊んだという。また図書館へ行けば、「(島尾)先生が声をかけてくれた」。林さんには島尾は「物静かな優しい先生」との印象が強く残る。

教会のいま

林さんが信徒総代を務めるのは二回目だ。前回は三年前。教区とコンベンツアル修道会との間で問題が持ち上がったとき。修道院の移転(永田町から古田町へ)と老朽化に伴う教会の建て直しもあった。「あの時は、きつかった」と思い返す。だから今回は、「あの時を思えば平穩無事」。

だが、懸念はもろろある。特に、少子化の影響だろう。子どもの数は20人弱。主日のミサには8人集まるかどうか。今夏のキャンプでも7、8人がやっどだった。「教会学校の活気がないのが寂しい」。

クラブ活動や習い事に忙しい子どもたち、子どもの

生活を中心に動く若い親たち。「いま、家庭で教会は二の次になつていいる」と林さん。しかし「子どもや若い世代が教会と疎遠になつていいるのは残念だが、各家庭に事情もあり、強制はできない」と悩む。

いつか教会で

それでも林さんは前を向く。将来を見据え、「いつか教会で、冠婚葬祭のすべてを賄えるようにしたい」との構想を抱く。結婚式のコーディネートや通夜・葬儀の世話など、マリリア教会の信者たちによる事業の立ち上げだ。

パンフレットを作製しインターネット等で呼びかけ、「全国から奄美大島で、マリリア教会で冠婚葬祭を希望する人たちを募れないだろうか」と考える。場合によっては巡礼や観光にも繋がるだろう。何より、事業を通して信者の新しい関係が芽生えれば、これまでと

鈴木神父のやさしいみ言葉

マリリア様の処女懐胎

マリリア様の処女懐胎を否定する話は二三世紀からありました。オリゲネスの『ケルソス駁論』の該当箇所を要約すると二つのことが書かれています。

1.マリリアは姦淫を働いた結果、イエスを生んだ。マリリアは夫ヨセフから姦淫の咎めを受けて追い出された。その後、恥辱に満ちた生活をする中でイエスを産んだ。イエスは貧困のためエジプトに移住し、その地である種の魔術のようなものを体得した。その後、ガリラヤに戻り、そこで自らを神であると騙っていた

生活を中心動く若い親たち。「いま、家庭で教会は二の次になつていいる」と林さん。しかし「子どもや若い世代が教会と疎遠になつていいるのは残念だが、各家庭に事情もあり、強制はできない」と悩む。

「ケルソス駁論」の「パンテラ」に読み込む見解があるようにですが、それが史的に正しいかは大いに疑問です。

とここで処女を意味するギリシア語の「パルテノス」をラテン語表記したものと「パンテラ」というラテン語の名前を比較すると以下の通りアナグラムが使われていることがわかります。



マリリア様の処女懐胎を茶化して「パンテラ」という架空の人物を登場させたと考えられることがわかります。因みに、パンテラとは豹や山猫を意味することから、軍人には如何にもありがちな名前です。

とにかく、人間の理性ですべて理解しようとする思

いが似非キリスト教を生み出してしまふものです。神様の御業によりイエス様は処女マリリアの胎に宿られたのです。

キッペス神父の黙想会
 12月11日(金)18時~13日(日)16時30分
 場所: マリア山荘
 参加費: 15,000円 (宿泊代・食事代含)
 連絡先: 福沢智子 TEL090-2083-9223
 e-mail:fuku-h@ml.satsuma.ne.jp

降誕祭ミサ時間

	24日(木)	25日(金)
指宿	19時	10時
鴨池	19時	10時
ザビエル	20時	10時・15時
谷山	19時	10時
種子島	20時	10時
玉里	20時	10時
紫原	19時	9時
吉野	19時30分	10時
志布	19時	10時
志宿	19時30分	19時30分
棚熊	19時	10時
上心	20時	9時

※11月17日、報告分を掲載

ザビエル書院の窓

子どもさんへのクリスマスのプレゼントに、また待降節中の準備のために、ふさわしい絵本はありますか? ザビエル書院には多数揃っております。

また来年のカレンダー、手帳も入荷しました。ご来店をお待ちしています。

写真は、ドン・ボスコ社の絵本「クリスマスの夜」「ちいさなてんしのおくりもの」定価1,000円+税